

平成20年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	日本における資本市場の形成と構造－歴史分析と国際比較	研究代表者名 (所属・職)	伊藤 正直（東京大学・大学院経済学研究科・教授）
-------	----------------------------	------------------	--------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

これまで比較的なおざりにされてきた日本の資本市場のマイクロ構造を、新たな視点から資料整備し、実証分析により研究を展開したことは意義あることである。また、日本の資本市場の構造と特徴に関する基礎資料を整備し、データベース化し、公開への道筋を付けたことは、きわめて大きな成果である。このように、本研究課題の第一の目的である「研究の基礎条件の整備」に関しては、データベースをマイクロフィルム、Web版として公開しており、普及性・波及性の観点からも高く評価され、期待以上の研究成果が達成されたと判断される。

しかし、研究の第二の目的である「長期的視点に立った歴史制度分析」、第三の目的である「アジア欧米諸国の資本市場発達史との比較研究」に関しては、得られた成果が明確にはなっていない。今後どのような体制・方向で、長期的視点、海外との比較研究を達成するのかを明確にしてほしい。

研究成果としては、資本市場の研究とは直接関係しない論文もあり、資料整理・データベース構築については高い評価が与えられるが、国際比較研究などについては、国際シンポジウムの開催により共同研究への緒がついた段階であり、今後の研究に期待したい。